

# Chuo Vision 2025

2018.10.1

since1885 Chuo University 「行動する知性。— Knowledge into Action —」

## 中長期事業計画 Chuo Vision 2025

学校法人中央大学は、創立130周年にあたる2015年にその後の10年間を見すえた中長期事業計画「Chuo Vision 2025」を策定し、計画の主な基本方針を4つの【Approach】として本学公式Webサイトで公表しておりました。実施3年目にあたる2018年6月末および8月末には、本学として26年ぶりとなる新学部の設置が認められるなど、その成果が着実に実を結んでまいりましたので、お伝えします。

4つの【Approach】進捗状況

- 1. 教育組織の改編・創設
- 2. キャンパス整備
- 3. グローバル戦略
- 4. スポーツ振興事業

Chuo Vision 2025

## 教育組織の改編・創設

Establishing New Faculties

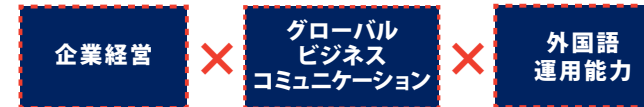
学部増設による総合大学としての魅力向上

現代社会が直面する課題に応えるため、教育研究体制の再編を検討してまいりましたが、まずは2019年4月に2つの学部を開設することといたしました。これにより新たに2学部2学科が増え、8学部26学科を有する総合大学として、更なる魅力向上を目指します。

- 理工学分野の理工学部情報工学科は、引き続き後樂園キャンパスにて教育研究活動を充実してまいります。
- 総合政策学部は、当面、従来通り、既設の2学科（政策科学科・国際政策文化学科）で教育研究活動を行ってまいります。
- 総合政策学部を発展改組し、学部単位の教員組織を学術院という大きな単位に改編する計画については、他の学部の学術院構想とも関連することですので、現在、継続して検討しております。
- 少子高齢化や福祉の充実など地域社会が抱える課題を解決するための政策形成、マネジメントに関する教育研究や、生涯スポーツを通じた健康作り、スポーツ振興に関する教育研究等を行う新学部として、健康スポーツ科学部（仮称）を2020年以降に開設することを目指して検討しております（設置構想中）。

### 国際経営学部 <多摩キャンパス>

国際経営で共生社会に貢献するグローバルビジネスリーダー



国際経営学部パンフレット

- 2019年4月、国際経営学部を多摩キャンパスに開設（入学定員300名）。グローバル共生社会における企業活動の担い手として、国際社会を舞台に活躍できる世界基準のビジネスリーダーを育成します。経営学を中心とした専門知識とグローバルなコミュニケーションスキルを同時に身に付ける体系的なカリキュラムによって、海外やグローバル企業で働くビジネスパーソンやビジネスリーダーとなる資質、実践力を鍛えます。

### 国際情報学部 <市ヶ谷田町キャンパス>

国境なき情報の諸問題解決



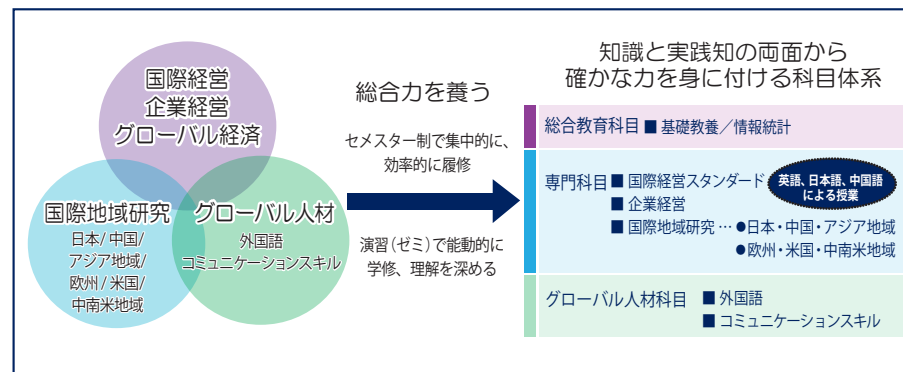
国際情報学部パンフレット

- 2019年4月、国際情報学部（iTL）を市ヶ谷田町キャンパスに開設（入学定員150名）。『情報の仕組み』と『情報の法学』を融合し、国際的サービス・政策を実現できる人材を養成します。iTLとは、国際情報学部の学びである“『情報の仕組み』と『情報の法学』の融合”を意味する“Information Technology & Law”と、市ヶ谷田町キャンパスが人と社会と情報をLinkする“Ichigaya Tamachi Link”であること、の2つの意味を表しています。社会の諸問題を解明し、解決するための学びとして、ICT情報スキルを学ぶ「情報基盤」、法律の体系的学びと情報法の知識を学ぶ「情報法」、幅広い教養とグローバル社会で活躍するための素養を学ぶ「グローバル・教養」、そしてさらにそれを融合した「情報発展」「情報実践」を総合的に学べるカリキュラムとなっています。

## <カリキュラムの特色>

1. 設置科目の7割以上が外国語（主に英語）による授業  
必修科目や多くの科目が英語による授業のため、卒業に必要なすべての単位を英語で行われる授業で修得することも可能となります。
2. 授業の内容、理解を深めるチュートリアル授業の実施  
基礎となる専門必修5科目は、通常の授業（使用言語：英語）に加えて、授業の内容をフォローし、理解を深めてもらうためのチュートリアル授業（使用言語：英語＋日本語もしくは中国語）を実施します。
3. 海外短期留学を必修化  
1年次に海外短期留学を必修科目とし、早い段階から海外の企業活動や異文化に触れることで、語学と国際経営学の学習意欲を向上させる仕組みとなっています。
4. 外国人留学生を対象とした秋入学を実施  
世界の主流となっている秋入学を中央大学で初めて実施します。これにより、外国人留学生を積極的に受け入れ、「内なる国際化」を実現します。さらに、多様な学生の交流の中から、相手を理解、尊重し、もってグローバル共生社会を構築する力を涵養します。

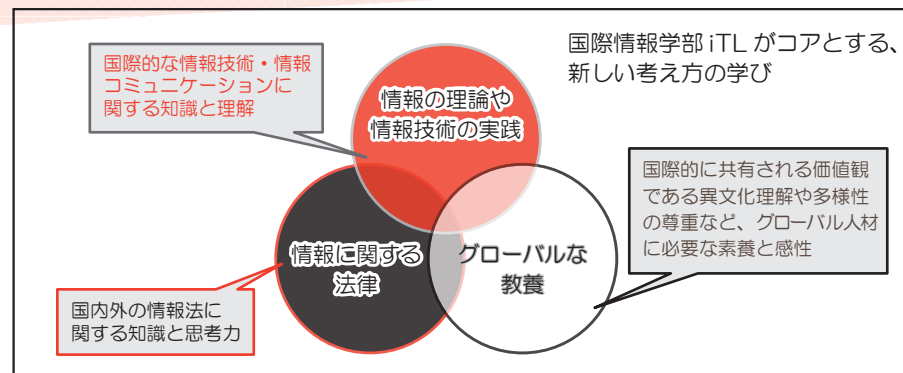
## 国際経営学部・学びの概念



## <カリキュラムの特色>

1. 情報基盤、情報の法学、グローバル教養が融合した「文系情報学部」  
人と人をつなぐ ICT 情報基盤（情報技術、情報コミュニケーション等の素養）、情報の法学（法規範のみならずグローバルな社会規範も包含した情報規範）、グローバルな感性（異文化理解や倫理・哲学・宗教学等のグローバル教養）、これらを合わせた総合的な視点から解決策やその社会実装を実現します。
2. 基礎理論の修得重視と専門発展科目が連携した教育課程編成  
情報基盤、情報法の基礎理論を学ぶための66単位の必修科目および、基礎理論を踏まえた豊富な専門発展科目（実践科目）によって教育課程が編成されています。
3. 実践科目の配置と実務家教員  
情報社会をリードする産官学の現場（官庁、グローバルICT企業、デジタルメディア企業など）から実務家教員を招へいします。そして3・4年次には、現在の最先端の情報や課題の解決策を学び実践力を修得します。
4. 新宿区市谷田町での学びと発信  
市谷田町の立地を生かして、教育研究の成果をリアルタイムで発信できる情報発信キャンパスとして産官学の組織連携による学びを実現します。

## 国際情報学部・学びの概念



CHUO UNIVERSITY  
FACULTY OF  
GLOBAL INFORMATICS

国際情報学部ロゴ

国際情報学部の愛称は「iTL(アイ・ティ・エル)」です。「Information Technology & Law」の頭文字と、「Ichigaya Tamachi Link」の頭文字を表しています。

【Approach】 2

# キャンパス整備

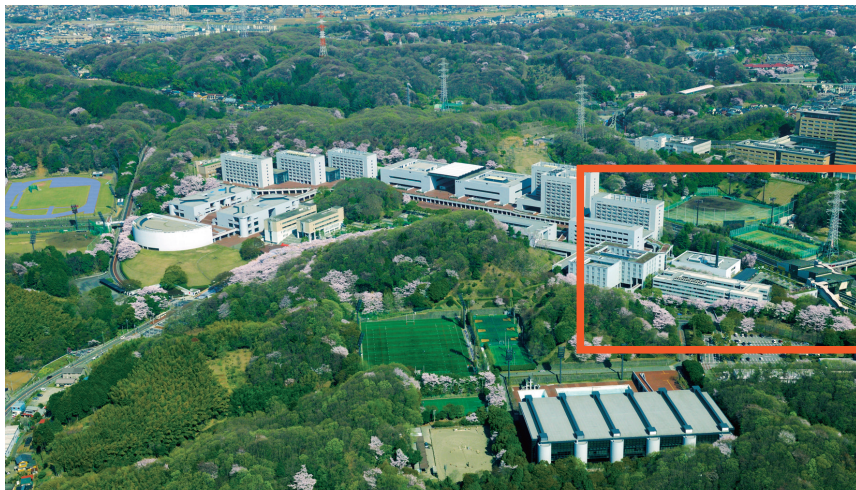
Campus

## 二大キャンパス体制の形成

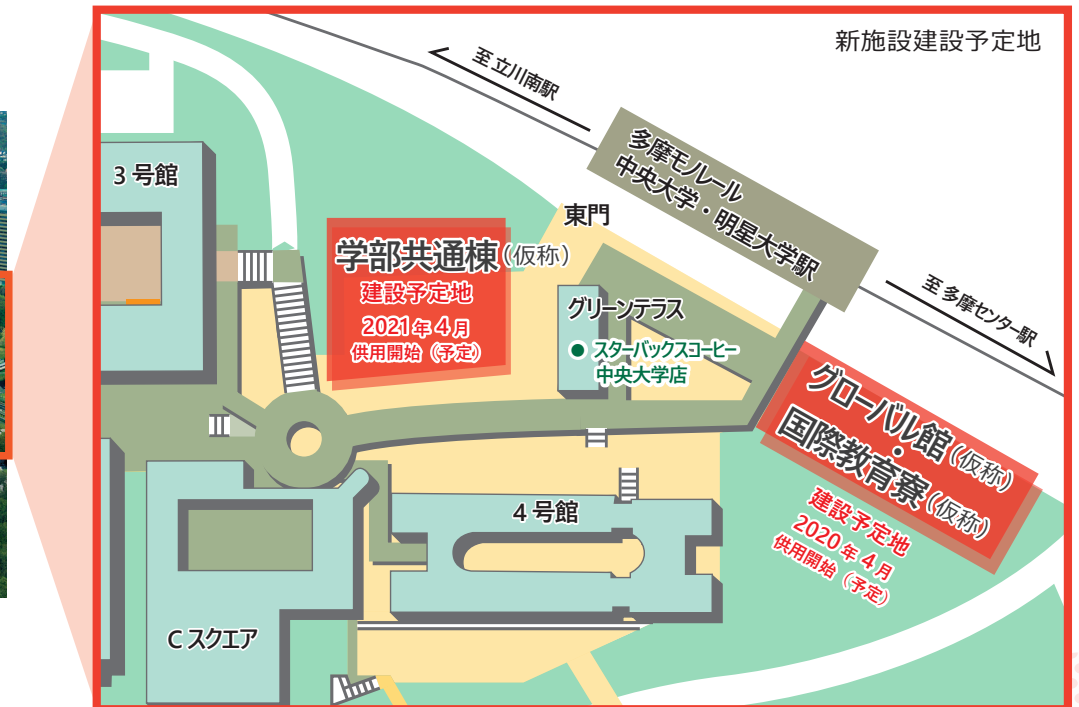
多摩キャンパスと都心キャンパスのそれぞれの魅力を明確化させ、多摩キャンパスは緑豊かで施設設備の整ったグローバルキャンパスを目指し、都心キャンパスは後楽園キャンパスを中心として先進的な教育研究とプロフェッショナル養成に注力したキャンパスを目指してまいります。

### ① 多摩キャンパス

グローバル館（仮称）・国際教育寮（仮称）＜2020年4月供用開始予定＞と学部共通棟（仮称）＜2021年4月供用開始予定＞の建設を予定しています。



多摩キャンパス＜東京都八王子市＞



■ グローバル館(仮称)・国際教育寮(仮称) <2020年4月供用開始予定(新築)>

グローバル化を推進する上で、より多くの外国人留学生や研究者を受け入れるために必要な教育内容の提供とともに、生活面でのサポート体制として、キャンパス内に国際系施設『グローバル館(仮称)・国際教育寮(仮称)』を整備します。グローバルな教育研究が可能となる施設設備を整えたグローバル館(仮称)とオンキャンパスで教育と生活が融合する国際教育寮にて、在學生と留学生が教育や生活を通じて、互いの文化や習慣などを学び、理解し、国際通用性を身に付ける教育施設となります。



グローバル館(仮称)・国際教育寮(仮称) 外観イメージ

■ 学部共通棟(仮称) <2021年4月供用開始予定(新築)>

従来の1学部1棟の利用ではなく、学部横断的な教育研究施設として、『学部共通棟(仮称)』を整備します。

多摩の豊かな自然を活かした「森のキャンパス」の入口として、またダイバーシティ・グローバルゾーンの中核となる施設として位置付けます。これにより、在學生のラーニング拠点・交流拠点として、また、あらゆる『知』が集合・発信される空間として、今までにない多摩キャンパスの新たな教育施設となります。

② 都心キャンパス

■ 2018年8月25日理事会において、2023年度から後樂園キャンパスを中心とした文京区および駿河台記念館に法学部と法科大学院を有機的に配置することを決定いたしました。

■ 市ヶ谷田町キャンパス <2019年4月供用開始予定(改修)>

2019年4月、国際情報学部(入学定員150名)を市ヶ谷田町キャンパスにて開設します。

「情報の仕組み」と「情報の法学」が融合する学術交流を発展させ、さらに産官学へと接続し、情報の未来を描き語り合う拠点となるよう、多様な学びの場の提供を行い、IT・IoTの積極的な導入による利便性の向上を図るなどの整備を行います。これにより「Link」を生み出すビルディング型スマートキャンパスとして生まれ変わります。



市ヶ谷田町キャンパス<東京都新宿区>

### 【Approach】3

## グローバル戦略

### Global Initiatives

#### グローバル化の推進

グローバル人材であった英吉利法律学校創立者たちの「建学の精神」を引き継ぎ、世界に存在感のある Chuo University を目指し、改革を推進しております。



福原紀彦学長と交流する留学生たち  
〈多摩キャンパス・Gスクエア〉

#### ■ 留学生受け入れについて

2025年までに、年間受け入れ人数 1,000人を目指します。2019年より開設する国際経営学部では、設置科目の7割以上が外国語（主に英語）による授業を行います。中央大学では初めて、卒業に必要な単位の全てを英語で行われる科目で修得することが可能となることから、留学生受け入れを一層推進してまいります。

#### ■ 学生の海外派遣について

2025年までに、年間派遣数 2,200人を目指します。2019年度より開設する国際経営学部では、海外短期留学を必修化します。また、長期海外留学後帰国した学生に対するキャリア支援も充実してまいります。

#### ■ グローバル・プロフェッショナルの育成

「グローバル FLP (Faculty-Linkage Program)」を 2018年度に開設しました。本プログラムは、実践的要素と実務的海外体験を取り入れた外国語による全学横断型の国際化教育プログラムです。

#### ■ 「国際共同学位」の構築

韓国の成均館大学と本学大学院法学研究科の2つの学位を授与する「国際共同学位（ダブル・ディグリー）」を 2018年度開設しました。台湾の国立中央大学と本学大学院理工学研究科の間でもダブルディグリーについて協定締結を行い、開設に向け準備を進めています。

#### ■ 「国際共同研究ネットワーク」の構築

文部科学省私立大学研究ブランディング事業に申請し、2016年度・2017年度と2年連続でタイプ B【世界展開型】に採択されました。本学は、本事業に採択された2つのテーマをもとに、大学間連携、産学官連携や国際共同研究等を推進し、「地球規模での複雑な諸問題の解決に寄与する」ことを目指します。

##### 〈2016年度〉

「アジア太平洋地域における法秩序多様性の把握と法の支配確立へ向けたコンバージェンスの研究」

【代表者】佐藤 信行（法務研究科 教授）

##### 〈2017年度〉

「超スマート社会の実現に向けた沿岸都市における防災プラットフォームの開発」

【代表者】有川 太郎（理工学部 都市環境学科 教授）

## 【Approach】4

# スポーツ振興事業

Sports

### スポーツ振興事業

選手の育成強化による実績の向上と、スポーツに関する伝統の維持・発展の両面を重視し、大学としてスポーツ振興を図るための独自の施策を展開します。

#### スポーツ振興事業の目標

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに20人以上の本学代表選手（在学生・卒業生）の派遣を目指します。
- 箱根駅伝は2020年までに5位以内、2025年までに優勝を目指します。

#### 推進体制

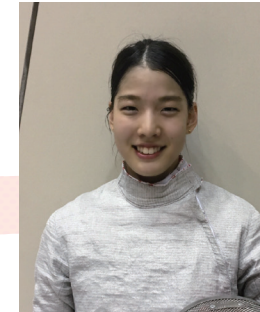
- スポーツ振興・強化推進室を設置し、その下に「オナーズ部門」「スポーツ振興部門」の2つの専門部門を設けて中期的・長期的な強化策を一体的に推進できる体制を整えました。
- 「オナーズ部門」においては、優秀選手の確保・育成のための強化策を実施し、オリンピック・パラリンピックへの選手輩出に向けた支援、駅伝強化計画の策定・実施などに取り組んでいます。支援方針として「選手への支援」と「優秀選手の獲得・育成・強化の環境向上」を掲げ、奨学支援、合宿遠征費の補助、専門スタッフ（トレーナー、栄養士等）と連携したトレーニング、スポーツパフォーマンス測定機器の整備などの支援プログラムを実施しています。
- 「スポーツ振興部門」においては、中大スポーツの伝統の維持・発展のため、体育部会が主要競技会での優勝を果たせるよう強化支援に取り組むことで、中大スポーツ全体の競技力向上と、学生、卒業生、教職員等すべての構成員の帰属意識の向上を図ります。



陸上競技部長距離ブロック



自転車競技部  
今村 駿介 さん(法3)



フェンシング部  
江村 美咲 さん(法2)



フェンシング部  
永野 雄大 さん(法2)



ハンドボール部  
部井久 アダム 勇樹 さん(法1)



女子卓球部  
梅村 優香 さん(文1)

中央大学では、優秀選手の獲得・育成に取り組み、将来性豊かなアスリートを強化選手として支援しています。

<写真提供>  
自転車競技部  
フェンシング部  
「中大スポーツ」新聞部

行動する知性。



詳しくは公式 Web サイトをご覧ください。  
<http://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/chuovision2025/>

2018.10.1 発行  
中央大学 広報室